

本資料は電気事業連合会から受領した文書を原子力リスク研究センター  
所長から技術諮問委員会の委員長宛に転送した文書を参考までに原子力  
リスク研究センターにて仮訳したものです。正式な文書は英文版の原文  
のみとなりますのでご注意ください。

原子力リスク研究センター  
一般財団法人 電力中央研究所  
〒100-8126 東京都千代田区大手町 1-6-1

ジョージ・アポストラキス  
原子力リスク研究センター所長

2015年3月13日

ジョン W. ステットカー氏  
技術諮問委員会 委員長

件名：電気事業連合会より提出された下記文書について

1. TAC Letter on SEISMIC HAZARD AND FRAGILITY EVALUATIONS AT IKATA UNIT 3;
2. TAC Letter on STATUS REPORT ON REVIEW OF IKATA PROBABILISTIC RISK ASSESSMENT MODELS;
3. Supplementary Response to TAC Letter on THE SUITABILITY OF MODELS FOR IKATA SITE PROBABILISTIC RISK ASSESSMENT

ジョン W. ステットカー委員長殿

標記件名の 3 通の文書を転送致します。これらの文書は電気事業連合会より原子力リスク  
研究センター所長宛てに提出されたものです。

最初の 2 通の文書は 2015 年 1 月の第 2 回会合後に提出された技術諮問委員会報告書への返  
信文書です。3 通目の文書は 2014 年 11 月 1 日付で提出された技術諮問委員会報告書への  
返信文書となります。

敬具

ジョージ・アポストラキス（本人署名）